

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)座間市相模が丘プロジェクト	階数	地上4F
建設地	神奈川県座間市相模が丘一丁目129番1	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店、集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年4月5日
敷地面積	1,997 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社厚木支社建築一級建築士事務所
建築面積	1,024 m ²	確認日	
延床面積	3,985 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(1-ダガーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
工場専用地域である申請地の接道部に緑地を設け、近隣のまちなみ形成に配慮した。		
Q1 室内環境 建物内は全館禁煙とし、非喫煙者への配慮を行った	Q2 サービス性能 更新間隔の長い建材の使用により建物の維持管理に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 接道部分に緑地を設け、周辺の景観に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル 節水型機器の採用により、資源保護に配慮した。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場、駐輪場を設け敷地外駐車場の抑制に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される